

神戸大学医学部附属病院

リハビリテーション科

指導担当医（役職）

酒井 良忠（特命教授）

実習概要

実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

概要

リハビリテーション科の診療に参画していただきます。基本的にはリハビリテーション外来にて、入院患者のリハビリテーション処方について、患者を診察し、その適応、リスク管理、リハビリテーション内容について検討を行い、処方を行います。またリハビリテーションカンファレンスに参加して、リハビリテーションスタッフとのコミュニケーションを学びます。また早期リハビリテーション回診を行っており、ICUやHCU,ECUといった集中治療の現場での早期リハビリテーションの必要性について学びます。さらに、小児疾患やリウマチ性疾患のリハビリテーション外来を見学し、痙性抑制治療や装具治療の実際を学びます。

実習スケジュール

月曜日から木曜日までは、午前中に入院中患者のリハビリテーション外来を行います。外来前カンファレンスを行って、ある程度適応、リスク管理などを検討してから実際の診察に移ります。

また、リハビリテーションスタッフとのカンファレンスを毎日朝行っており、そちらへ参加する場合があります。

午後からは早期リハビリテーション回診を行っており、ICU, HCU, ECUといった集中治療室を、集中治療医、リハビリテーションスタッフ、看護師、管理栄養士などと多職種での回診を行い、運動療法の指示や、リハビリテーション治療の必要性についてディスカッションを行います。

月1回の長期リハビリテーションラウンドや、他科とのカンファレンスも随時おこなっており、参画していただきます。

金曜日は関節リウマチと小児疾患のリハビリテーション外来を行っており、痙性抑制治療や装具治療などについて学んでいただきます。

学生へのメッセージ

リハビリテーション科は新専門医制度における基本領域19学会の一つで、リハビリテーション治療をもって患者さんのADL、QOL向上を行い、社会から疎外された人間の社会的な復帰を目指す診療科です。

急性期においては、入院患者のリハビリテーション処方を、適応を判断しながら、適切なリスク管理をもって行うことが中心となり、また主診療科とリハビリテーションセラピストとの懸け橋となる仕事でもあります。また外来診療においては、維持期の患者を中心に装具治療や痙性抑制治療などを行っています。

当院での「臨床実習3」では回復期のリハビリテーション診療を経験することはできませんが、神戸大学リハビリテーション科の関連病院において研修する機会を設けております。

リハビリテーション科に興味がある方、急性期医療だけでなく、回復期、維持期の医療について興味のある方はお気軽にご相談ください。